令和6年度事業報告

はじめに

令和6年度は受託事業において受注件数が昨年度対比100.4%、就業延人員が昨年度対比99.0%、契約金額が昨年度対比98.9%と受注件数では0.4ポイントプラスになりましたが、就業延人員、契約金額ともに前年度をクリアすることができませんでした。派遣事業においては、受注件数で昨年度対比110.7%、就業延人員で昨年度対比118.5%、契約金額で昨年度対比132.9%と前年度を大幅に上回り、請負から派遣への切り替えが進んでいることから、派遣事業の伸びが年々上がっている状況が続いています。これにより、受託事業と派遣事業の契約金額の合計が2億7千6百万円となり昨年度対比108.4%とクリアすることができ、昨年度に続き過去最高の契約金額実績となりました。会員拡大については、入会した人数と退会した人数の差がなくわずか3名の増加に収まりました。 退会抑制の取組が重要でありますが、退会者を抑えるだけでは将来の展望や継続的な発展は望めないことから、シルバー事業に魅力を感じて入会者が入ってくる活性的な組織にしなければならないと感じているところです。

湯沢市をはじめとする関係機関のご指導ご援助と、地域社会における発注者の方々のご理解ご協力に厚く感謝と御礼を申し上げます。

【事業報告】

1. 会員の入会促進活動の推進

高齢者が社会参加や活躍の場を増やすことと、地域社会の多様なニーズへの対応ができる会員を増やすため会員の入会促進活動を行いました。毎月 1 回開催される「おしごと説明会」では、男性36 名、女性21 名、合計57 名の入会を受付しました。

- ① 会員「一人一紹介」の奨励
- ② 一般家庭への会員募集パンフレットのポスティング活動
- ③ 「おしごと説明会」の日程を記した紙をポケットティッシュに同封し、皆瀬総合支所、ビフレ湯沢プラザ店、ビフレ稲川店、よねや千石大橋店、バザール雄勝店へ設置
- ④ 手作りのおしごと説明会開催ポスターを毎月公共施設等へ掲示
- ⑤ PDCA サイクルによる現状分析に基づいた検討計画による効果的な対策の実施
- ⑥ ホームページでの PR
- ⑦ 月1回ハローワーク湯沢の「高年齢者就職支援セミナー」にて「おしごと説明会」の紹介を 実施
- ⑧ 就業体験の実施
- ⑨ 退会者の抑制活動(互助会活動参加への奨励、簡易的な就業機会の奨励)

2. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの存在を湯沢市民や一般企業等への周知徹底を図ることを目的として、以下のようなPR活動を展開しました。

- ① 会報「シルバーゆざわ」の誌面充実を図り、年2回湯沢市全戸配布
- ② 全シ協で出版している情報誌「月刊シルバー人材センター」を図書館等の施設に設置
- ③ ボランティア活動の実施
 - ・湯沢地区・・・・・10月 4日 県道 185、277 号線歩道清掃 62 名参加
 - ・稲川皆瀬地区・・・10月 4日 稲川小学校屋内清掃 14名参加
 - ・雄勝地区・・・・・10月 8日 小町の郷公園除草、清掃 12名参加
- ④ ホームページの内容を充実させ適宜更新
- ⑤ 県南地区シルバーフェアの開催(10月16日、湯沢文化交流センター)

3. 就業機会の拡大と開拓の推進

役員と職員が一般家庭へのポスティング活動を行い、会員は「一人一就業開拓」の実践にあたりました。また、空き家見回り業務 5 件、空き家草刈り業務 4 件を受注しました。湯沢市の「ふるさと納税推進事業」のふるさと特産品(返礼品)として、空き家見回りサービス 0 件、墓地清掃サービス 10 件の実績を残しました。契約件数では、昨年度対比請負 11 件、派遣 6 件の増でしたが、就業延人員では、昨年度対比請負がマイナス 367 人日、派遣がプラス 2,378 人日の就業日数となり、派遣の就業量が高くなっています。

- ① 湯沢市からの新規受注の開拓
- ② ガイドラインによる法令遵守に基づいた適正就業の推進

4. 技能講習の実施

会員の希望職種転換や新しい技能の取得を目指し、今後増え続ける受注に対応するための技能講習会を実施しました。

① 5月23日・・・墓地清掃講習会(香積寺) 5名参加

5. 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

多様な就業意欲をもつ高齢者にシルバー人材センターでの就業に必要な技能講習を実施し、就業体験を通じて高齢者と企業双方の理解を深めるために高齢者の一層の活躍を促進しました。

- ① 就業体験実施企業 1 件 就業体験者数 16 名 入会者数 16 名
- ② 剪定講習 16 名参加 入会者数 1 名

6. 安全適正就業の推進

安全適正就業対策委員会と安全就業推進員を中心に安全パトロールを実施し、事故の未然防止や「声かけ運動」を行い安全意識の周知を徹底しましたが残念ながら 5 件の傷害事故(転落 1 件、転倒 1 件、熱中症 1 件、蜂刺され 2 件)と、 1 件の賠償事故(草刈り時の飛び石)が昨年度に続き発生しました。全国的に飛び石事故が多く、このままでは保険会社がシルバー保険から撤退せざるを得ない状況になってきていることから、当センターも今後徹底した飛び石事故防止対策を講じてまいります。適正就業については、自主点検表によるチェックを基本に確認体制を確立し、請負・派遣の適正な受注に努めました。

- 毎月1回発行の「事務局だより」に安全適正就業啓発記事を掲載
- ② 安全就業について声掛け運動の実施
- ③ 健康について自己管理の呼び掛け
- ④ 3月13日・・・安全適正就業対策委員会の実施
- ⑤ 7月~10月・・・安全衛生委員会の実施
- ⑥ 11月6日・・・安全衛生研修会(秋田市)3名参加
- ⑦ 「適正就業基準」の浸透を図り、法令遵守を徹底し、偽装請負を無くし派遣就業への切り 替えを実施

7. 女性部会の活動

女性会員の社会貢献事業として各種イベントへの参加を掲げていましたが、イベントへの参加は 見送り、初めての試みとして県南地区のシルバー人材センターが集結し湯沢市を会場に開催された、 「県南地区シルバーフェア」の活動に参加しました。

- ① 女性会員同士の親睦や融和を図る
- ② 10月16日・・・県南地区シルバーフェアバザーへ参加
- ③ 10月24日・・・手芸を楽しむ集い(会場:湯沢市シルバー人材センター)8名参加

8. デジタル化の促進強化

デジタル環境の整備を行い、WEB 入会や WEB 受注等を普及させました。事務運営の効率化や簡素化を図り新契約方式に対応するため、デジタル化への取組みを強化しました。

- ① 新規会員へスマホに関するアンケート調査を実施
- ② スマホ操作講習会の実施(9回実施、講師ソフトバンクほか)
- ③ 会員専用サイト「Smile to Smile (スマイル トウ スマイル)」の奨励
- ④ LINE (ライン:通信アプリ)の普及促進

9. 有料職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務に係る仕事について就職 を斡旋する有料職業紹介は、求人の申込みがありませんでした。

10. シルバー派遣事業

適正就業の観点から偽装請負を無くすことと、請負に馴染まない受注は派遣事業への切り替えを 徹底し、(公社) 秋田県シルバー人材センター連合会湯沢市事務所として派遣契約を実施しました。

受注件数・・・62件 派遣就業延人員・・・15,264人日 契約金額・・・94,155,504円